

ことひら

第38号

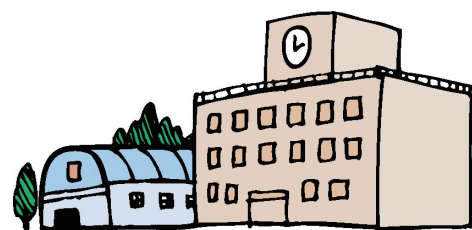
令和2年5月
発行:香川県琴平町議会

議会だより



3月議会

3月定例会	2
一般質問	4



令和2年3月定例会

可決

新年度
予算審議

令和2年度当初予算案など28議案可決・人事案1件同意・発議1件可決

令和2年3月定例会は、3月6日から25日までの20日間の会期で開催しました。

審議した議案は、町長から提出された令和2年度当初予算案など28議案を可決、人事案件1件を同意し、議員提出議案として、新型コロナウイルス感染症対策に関する意見書を可決しました。

一般質問では7人の議員が本町の行政全般にわたり、コロナウイルス対策、こども園・小学校統廃合問題、会計職員任用制度等について町長や教育長にいろいろな角度・視点から質問しました。

令和2年度当初予算規模

会計名	令和2年度	2019年度	対前年度		
			増減額	増減率	
一般会計	52億1,232万9千円	64億4,060万9千円	△12億2,828万円	△19.1%	
特別会計	学校給食	0円	3,301万円	△3,301万円	△100.0%
	国民健康保険	11億794万8千円	11億2,198万9千円	△1,404万1千円	△1.3%
	下水道	2億6,644万8千円	2億5,050万円	1,594万8千円	6.4%
	駐車場	1,170万6千円	1,170万6千円	0円	0.0%
	介護保険	11億8,612万6千円	12億231万4千円	△1,618万8千円	△1.3%
	後期高齢者医療	1億7,656万1千円	1億6,610万7千円	1,045万4千円	6.3%
	温泉事業	2,406万4千円	1,387万8千円	1,018万6千円	73.4%
	計	27億7,285万3千円	27億9,950万4千円	△2,665万1千円	△1.0%
合計	79億8,518万2千円	92億4,011万3千円	△12億5,493万1千円	△13.6%	

※学校給食特別会計は、令和2年度より廃止

【主要な新規事業等】

事業名	予算額	事業概要
土砂災害・洪水ハザードマップ作成業務委託料	550万円	土砂災害・洪水ハザードマップ作成業務に係る経費
住宅用太陽光発電システム設置補助金	200万円	太陽光により発電した電力を蓄えることで災害時にも使用可能な蓄電池の設置補助に係る経費
子ども医療費助成事業費	3,516万8千円	医療費助成対象者を15歳から18歳へ引き上げることに伴う経費
英語検定受験料補助金（中学校）	136万円	受験級ごとに1回補助を行うことに係る経費

2019年度3月補正予算

（単位：千円）

会計名	補正額	補正後総額	
一般会計	△1億1,882万4千円	64億3,409万1千円	
特別会計	学校給食	△120万円	3,200万8千円
	国民健康保険	△1,657万5千円	11億1,991万6千円
	下水道	△765万7千円	2億4,649万8千円
	駐車場	189万円	1,441万1千円
	介護保険	△1,703万6千円	12億3,840万8千円
	後期高齢者医療	△252万5千円	1億6,586万7千円

議案の審議結果

令和2年3月定例会

採 決 表

議案名等	議員名										議決 月 日			
	議席番号			1	2	3	4	5	6	7		8	9	10
	賛 成	反 対	採 決 結 果	安 川 稔	別 所 保 志	吉 田 親 司	豊 嶋 浩 三	森 藤 泰 生	渡 辺 信 枝	今 田 勝 幸	山 下 康 二	眞 鍋 籌 男	山 神 猛	
議案第1号	令和2年度琴平町一般会計予算	7	2	可	—	○	○	○	○	×	○	○	×	3/25
議案第2号	令和2年度琴平町国民健康保険特別会計予算	9	0	可	—	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
議案第3号	令和2年度琴平町下水道特別会計予算	8	1	可	—	○	○	○	○	×	○	○	○	〃
議案第4号	令和2年度琴平町駐車場特別会計予算	9	0	可	—	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
議案第5号	令和2年度琴平町介護保険特別会計予算	9	0	可	—	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
議案第6号	令和2年度琴平町後期高齢者医療特別会計予算	9	0	可	—	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
議案第7号	令和2年度琴平町温泉事業特別会計予算	7	2	可	—	○	○	○	×	×	○	○	○	〃
議案第8号	2019年度琴平町一般会計補正予算(第5号)	9	0	可	—	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
議案第9号	2019年度琴平町学校給食特別会計補正予算(第2号)	9	0	可	—	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
議案第10号	2019年度琴平町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	8	1	可	—	○	○	○	○	×	○	○	○	〃
議案第11号	2019年度琴平町下水道特別会計補正予算(第3号)	9	0	可	—	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
議案第12号	2019年度琴平町駐車場特別会計補正予算(第2号)	9	0	可	—	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
議案第13号	2019年度琴平町介護保険特別会計補正予算(第4号)	9	0	可	—	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
議案第14号	2019年度琴平町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	9	0	可	—	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
議案第15号	2019年度琴平町温泉事業特別会計補正予算(第2号)	9	0	可	—	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
議案第16号	琴平町職員のサービスの宣誓に関する条例の一部を改正する条例	9	0	可	—	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
議案第17号	琴平町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	9	0	可	—	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
議案第18号	琴平町職員の旅費に関する条例の一部を改正する条例	9	0	可	—	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
議案第19号	琴平町森林整備促進基金条例	9	0	可	—	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
議案第20号	琴平町学校給食特別会計条例を廃止する条例	9	0	可	—	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
議案第21号	琴平町立児童館設置条例を廃止する条例	9	0	可	—	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
議案第22号	琴平町議会の議決に付すべき公の施設の利用並びに廃止に関する条例の一部を改正する条例	9	0	可	—	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
議案第23号	琴平町営住宅条例の一部を改正する条例	9	0	可	—	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
議案第24号	琴平町介護保険条例の一部を改正する条例	9	0	可	—	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
議案第25号	琴平町附属機関設置条例の一部を改正する条例	9	0	可	—	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
議案第26号	琴平町健やか子ども基金の設置管理及び処分に関する条例の一部を改正する条例	9	0	可	—	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
議案第27号	琴平町福祉医療費助成条例の一部を改正する条例	9	0	可	—	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
議案第28号	琴平町立学校条例の一部を改正する条例	9	0	可	—	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
議案第29号	人権擁護委員の候補者の推薦について	9	0	同	—	○	○	○	○	○	○	○	○	3/6
発議第1号	新型コロナウイルス感染症対策に関する意見書	9	0	可	—	○	○	○	○	○	○	○	○	〃

※ 可…可決 同…同意
 ※ ○…賛成 ×…反対 —…議長（議長は可否同数の場合のみ表決権があります。）

人権擁護委員の候補者の推薦に同意

かね せき はじめ
金 関 首氏（琴平町苗田） 再任 66歳

法務大臣の委嘱により市区町村ごとに置かれ、任期は3年間

ズバリ 町政を問う



渡辺 信枝 議員

町政施行130周年を機に

渡辺 ①今年で130周年を迎えた琴平町。歴史のまとめは、どの様にしているのか。現在の町史5巻は、平成7年から10年にかけて編集されたもので、作成して25年が経過、令和の時代になった。その後の25年間の歴史は残していると思うが、どの課が取りまとめ、今後の町史編纂は、どうお考えか。

②琴平町歴史民俗資料館の入り口の年表も、平成時代の30年間は全くなく、昭和63年までしかない。今後どの様にしているのか。

町長 ①前回の25年前の町史発行は、教育委員会が平成元年に町史の編集委員会を設置し、編纂した。その後町の歴史等に

ついては、まとめて管理しているものはない。所管は教育文化関係については教育委員会。町行政その他は総務課となる。

教育長 ①町史編纂事業は、約10年の歳月をかけ、膨大な資料収集に始まり、古文書の解読、そして原稿の執筆を40名を超える編集委員で行われた。今後の町史づくりは、どのような体制で取り組んでいくか検討していきたい。

②琴平町歴史民俗資料館入口の年表は、昭和時代までのものになっている。令和の時代になったことを契機に、平成時代の内容について追加していく事が必要になっていく。どのような形で追加していくか、今後検討していきたい。

幼保一元化、先ずは仕組みから整備を

渡辺 ①町内には、私立も含めて5か所の幼稚園保育所がある。どこも子供の数が年々減少しているが、先生の数は足りて

いない。北保では教室数も相変わらず足りていない。琴平町移住・定住促進PR動画では、「子育て支援に力を入れおり、子供の医療費が無料・子供の待機児童はゼロ」と魅力発信をしているが、今、琴平町には2名の方が入所許可のない隠れ待機児童となっており、先生の数も不足している。仮に北と南、二つの保育所が一つになれば2名の保育士が空き、待機児童の解消も予想される。今後、幼保一元化を進めるつもりがあるのか、どう進めていくのか。

町長 メリット、デメリットがあり、議員ご指摘のメリット面もあるが、設備的、制度的にデメリットもあり、なかなか踏み切れない。ある程度将来的な町施設の姿が決まった段階で、案として、今ある施設を活用し、子ども園化も可能であるとの報告を受けているので、今後の課題として、またお示しする。その際ご助言いただきたい。



山神 猛 議員

小学校の今後の取り組みは

山神 町長は今後のハード事業の取り組みについて、金丸座の耐震、庁舎の改築、小学校の改築を進めていくとのことだが、小学校の統合の具体的な話がない中、どのように進めて行くおつもりか。検討委員会に諮問して方針を示してきたが、その当時とは生徒数も激減し、環境も変わっている。計画の変更をする必要があると考えるが、3小学校に於いて耐震工事や多額の経費を掛けて空調設備工事もしているから現存する小学校を有効に使うと戴きたいと要望する。

の中で、一番大切なものは町づくりについて小学校の位置、役所の位置、保育所、幼稚園の位置がどうあるべきかと言うのは小さな琴平町とは言え、その数と配置を考えなければならぬ。

新型コロナウイルスへの取り組みは

山神 現在香川県では感染者はいないが、何時発症するか分からない。コロナウイルスに於いて町の小中学校の教育現場の対応と4月に行われるこんぴら歌舞伎大芝居の中止も視野に、観光産業への影響は大変大きいものがあると考え、中小企業への対策を示せ。

町長 新型コロナウイルスの影響で小中学校の臨時休校の影響で休職を強いられた保護者に対し国費で給与を補償する様なことも言われている。町の観光産業に於いては、団体客がキャンセルとなりホテルや旅館、飲食業において、多大な影響が出ている。影響を最小限にとどめる様、国、県、観光協会との連携を図り、

地籍調査の取り組みは

山神 平成25年度から始まった地籍調査に於いて、現在までに境界確定が出来ていないのは何件か。また、個人所有の土地が町道として使用されているにも係らず移転登記もされずに町道として使われている。琴平町には道路用地の取得に関する条例が出来ていない。早急の条例作りを強く要望する。

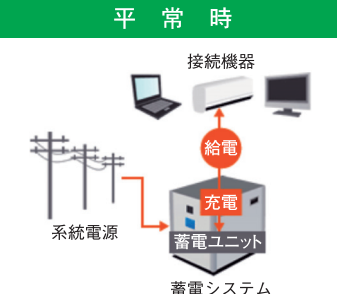
町長 24筆の8件です。原則として町道用地の所有権は琴平町にあるべきであり町道用地内に私有地がある状態を解消すべきであると考えている。しかし今迄道の拡幅工事に関しては各所有者から同意を得て行っている。



別所 保志 議員

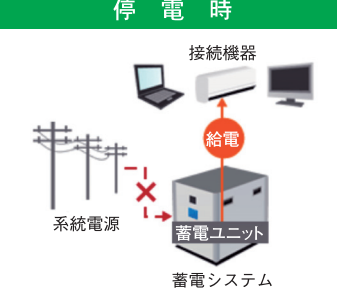
住宅用太陽光発電システムの展望は

別所 太陽光発電と蓄電池を組み合わせて設置し、電力の自給自足が出来るといわれるが、災害時の時にも非常用電源として使用することが可能であり、もしもの時の大きな安心にもつながる。近隣他市町村に先駆けて補助制度を制定出来ないのか。



通学路等に対する交通安全対策は

別所 琴平町全体の交通安全対策を再度、検討していかねければならないと考える。第一段階として小学校の通学路及び未就学児を中心に子ども達が日常的に集団で移動する経路の安全確保について具体的な検討と対策を講じるべきだと考え、道路標識の在り方、カーブミラー等の設置整備、歩行者通路を明確にする為に路肩を青色に着色する等の取り組みべき事は沢山あると思うが。



予算に盛り込んでおり、4月から導入したいと考えている。

町長 今後、園外保育の経路、通学路などの危険箇所を調査・協議し、交通安全対策を再度、検討していかねければならないと考える。第一段階として小学校の通学路及び未就学児を中心に子ども達が日常的に集団で移動する経路の安全確保について具体的な検討と対策を講じるべきだと考え、道路標識の在り方、カーブミラー等の設置整備、歩行者通路を明確にする為に路肩を青色に着色する等の取り組みべき事は沢山あると思うが。

また、道路の渋滞問題や住宅開発等を進める上で町道の改良や新設というものは、琴平町において長年できていない。都市計画で、町づくりにおいて、新しい道をつけられれば、新たな町の発展であったり、地域の発展が出来るという事についても、日々考えている。道路改良、道路新設、町道や県道も含めて町づくりの上で、車社会である以上、道路がどうであるべきかという事は重要であることは認識している。今後は、ご指摘の部分についても重々に理解した上で進めたいと思っている。





豊嶋 浩三 議員

琴平町地方創生総合戦略の効果は

琴平町の産業振興と子育て環境を良くする事によって、町民の町外流出を抑制しIターンやUターンを促進する事で、琴平町民の増加を目指す為に行っている行政施策が、総合戦略であります。

豊嶋 令和元年度までの第一期総合戦略の検証と改善は行ったのか。

町長 毎年行っている有識者会議に於いて、個々の施策の効果についての意見はありません。また改善策等の意見もありません。しかし「このままではいいのか」と言う意見はありません。

豊嶋 町外から移住の促進を図る為の空き家バンク（香川県空き家ポータルサイト）の活用が無いのはなぜか。

町長 これまで、納税通知送付時に空き家バンク活用等の文書を同封して周知を行っておりますが、空き家の持ち主に於いて、諸条件面での不一致等により現在、登録がありません。これからの周知に努めて参ります。

豊嶋 若者住宅取得補助事業は、若者が家を建てて住んでもらう為に、補助金を交付するものですが、条件として、居住地に5年以上定住する事となっておりまして。本年度で、助成事業開始から5年となっておりまして。この条件確認はどの様に行うのでしょうか。

町長 実績報告として当該住民に対して、世帯全員の住民票の写しを、提出いただいております。また定住の判断として、住民票による現地の表札確認等を予定しております。

豊嶋 琴平町の移住定住関連の補助として19事業もあります。いくつかの補助金を申請する場々に、1つの窓口で申請出来る様にすべきではありませんか。

町長 19事業の内訳は、各担当課によって予算計上された個別事業でありますので、それぞれの課の担当による説明が必要であります。ご希望の助成事業について、その都度担当課の職員が分り易く対応しております。

豊嶋 総合戦略の世代間交流施策にある、自治会に加入する世帯数を、令和元年度に2700世帯にする目標なのに、現在でも2394世帯と、これまでの5年間で、まったく成果がなく、逆に減少していると言う事は、これまで何もしなかったのか。

町長 現在の自治会の在り方自体が、難しくなっている。ご近所間でも、人間関係や共働きなどによる生活環境の多様性など多くの課題を考えて、研究しております。



眞鍋 籌男 議員

琴平町コトコト感幸バス

眞鍋 琴平町の低速電動バスの運行について。

運行経路や停留所を決定する際に町民の意見を聞いたのですか。例えば自治会長等、地元の見解です。

町長 本年1月15日に出発式を行い、1月21日から取り組んでいきます。この事業は環境省の実証実験募集要項で、実証期間は最長3か年で令和3年度末となっております。ご指摘のように令和2年度は各ルートごとに各地区の自治会長の

皆様と意見交換会をし、住民のニーズに合った運行ルート、ダイヤになるように目指していきたいと思っております。なお、費用の年間300万円は環境省が負担し、琴平町の負担は運転手の人件費と電気代で一年間580万円を見込んでいます。

眞鍋 なぜ、上櫛梨の北側方面と下櫛梨の方へは行かないのですか。同じ町民です。不公平は許されませんか。

眞鍋 これにつきましましては、低速電動バスの特性によるところが大きく、1回の充電で40kmしか走れません。また、時速が19kmということによって、走っております。元象郷農協までのコースにおいても1周40分かかります。

昨年4月の試験走行の時には、下櫛梨方面まで走行し、1周約1時間かかりました。バス1台しかないので、1周に時間がかかるのと、いわゆる便数が減り、利便性が落ちてしまうことを考慮しました。議員ご指摘のように上櫛梨も下櫛梨も同じ琴平町であります。決して軽んじてはいたしません。





今田 勝幸 議員

新型コロナウイルス禍から「命と健康・観光琴平」を守る

今田 町民からの問い合わせに対する「町内の体制」について質問。

町長 琴平町での窓口については「こども・保健課」である。

今田 「県の医療体制は公表しない」を受け医療と検査体制の強化は町も国などに要請して頂きたい。

町長 現在国は医療体制の対策を行っている。町は必要に応じて要請していく。

今田 収束がわからない、不安だ。PCR検査は県で1カ所、県相談所5カ所。病床確保、隔離も必要になる、行動を求め、政府の自粛要請の影響は、観光琴平、歌舞伎公演に

も深刻。関係業者につきなぎ融資、生活支援を求めべき。最悪を想定して卒業式、入学式、歌舞伎も準備する必要がある。松竹とも協議し決断もする。

3月2日〜全国小中学校への休校要請は共働きの経費など支援要求を求めらる。

町長 町には観光の関連業者多く、地域経済のウェイトも大きい。国の特例措置の情報を収集し、町村会にも通し、国・県に強く対策を求めたい。

今田 「滝宮病院」が厚労省公表424リストにある。認識を質す。

町長 現在の医療機能を維持する必要がある。

21年4月介護保険改定の基本方針について質す

今田 施行20年、18年度介護保険特別会計の財調2億2千万円を活用し、町民が安心できる介護保険を要求した。

町長 町が指針と案を第8期介護保険事業計画策定委員会に、保険料も諮問した上で答申を頂いて最終的に判断する。

民間住宅耐震支援事業の選択制代理受領制度導入を

今田 利便性から12の市町は既に実施。町内業者の営業・くらしを守る視点からも導入を求めらる。

町長 利便性は非常に有効。他市町の実績を調査し本人申請前提で検討する。

新年度臨時職員の手当支給は

今田 臨時職員も町職員と同じ月数支給？月支給額は現在と同じ金額？短時間臨職も同様の支給を求めらる。

町長 同じ月数である。月額減る方2名ですが年額は減らない見込み。



森藤 泰生 議員

本会議初日、町長から、「10年後の琴平町の姿を描き、それを実現するための指針となる自由な発想で時代の変化や琴平町の実情を的確にとらえた分かりやすい計画を策定する」、「より一層の経費削減と各種事業の効率化に努め行政力を向上させる」との施策方針の表明があった。

コンサルタントを使うなら、計画に独自性を

森藤 令和2年度当初予算に、琴平町総合計画策定業務委託料568万7000円が計上されている。これまでのような、簡単に入手できる人口統計と町民アンケートによる計画であれば、高額のコンサルタント委託は必要ない。コンサルタントの力は政策を実現するためのデータの収集と整理、そして入

手したデータの活用法の指導にこそ必要だ。

町長 ただボンと放り込んでこれまで通りの計画を作ってくれというのではおそらく同じものが出てくる。

適正な就労管理を

森藤 琴平町は、ここ20年間継続して行財政改革が行われてきた。経費削減とは、職員数や報酬給与のカット、投資的経費の削減、税率や使用料のアップだが、これ以上の経費削減は職員個々の意欲や琴平町行政自体を疲弊させるだけだ。

町長 平成28年度は定年退職者2名、それ以外の退職者2名、採用は7名、平成29年度は定年退職者3名、それ以外5名、採用は11名、平成30年度は定年退職者5名、それ以外10名、採用は13名、再任4名；概してベテランの職員が減少し、新人がたくさん入ってくる。

森藤 職員ごとの仕事量のかたよりが大きくなっ

ている。

町長 業務外勤務や時間外勤務など、職員一人ひとりに負担を強いている。

森藤 ひと月の残業時間が80時間を超えた件数を問う。

総務課長 80時間を超えたものが2名；産業医へ連絡して今後のケアも併せてしたい。

森藤 100時間を超えた件数は。

総務課長 100時間を超えたものが1人いる。

森藤 100時間超は過労死レベルだ。この現状をどのように考えているか。

町長 大変よくない現状であることは感じている。；検討しているところである。

森藤 ここ数年、役場の中心となるべき人たちの定年前退職が続いている。琴平町にとって大きな損失だ。適正な就労管理をお願いする。

お知らせ

ぜひ、議会の傍聴を!!

3月定例会は4名の方が会議を傍聴されました。



本町議会では、定例会を3月、6月、9月、12月の年4回（臨時会は随時）開催しています。会議の当日、傍聴人受付票にご記入いただき、受付箱に投函後、役場3階傍聴席入口よりご入場ください。

6月定例会は 6月12日(金)に開会します。

琴平町内で撮影した四季折々の行事や風景など「ことひら議会だより」の表紙にふさわしい写真を募集します。あなたの一押しの写真が表紙を飾るかも。ご応募お待ちしております！



詳しくは議会事務局(☎75-6713)までお問い合わせください。

E-mail: gikaijimukyoku@town.kotohira.lg.jp

令和2年6月定例会日程(予定)

月	日	曜日	会 議
6	12	金	本会議(提案理由説明等) 9:30~
	13	土	
	14	日	
	15	月	本会議(一般質問) 9:30~
	16	火	本会議(一般質問) 9:30~
	17	水	総務産業経済常任委員会(議案審査) 9:30~
	18	木	教育厚生常任委員会(議案審査) 9:30~
	19	金	本会議(委員長報告、採決等) 9:30~

会議録もご覧ください

議会だよりでは、紙面の都合により内容を要約してお伝えしています。質疑・答弁の詳細は、会議録に詳しく掲載されていますので、ぜひご覧ください。会議録は町ホームページ内、議会欄、会議録検索システムでご覧になれます。

琴平町議会

自治功労賞



地方自治の振興に功労があったとして、全国町村議会議長会から眞鍋壽男議員が表彰されました。(在職27年以上)

編集後記

昨日、全国に緊急事態宣言が発令されました。人類の歴史は、感染症との闘いの歴史といっても過言ではありません。その中で、ちょうど100年前に流行したのがスペイン風邪です。この新型インフルエンザは、日本でも猛威を振るい、日本人の4割が感染したといわれています。当時病原体は不明とされ、その正体が解明されたのは約80年後でした。一方、新型コロナウイルスが特定されており、感染症を予防するワクチンや治療薬も開発中です。「あと半年ぐらいで治療薬のめどがついてくる」とみる専門家もいるようです。

コロナ禍は必ず終息します。現在、たいへん不自由な思いをされていると思いますが、その日まで自身自身の命、家族の命を守る行動をとってください。

(森藤 令和2年4月17日記す)

表紙の写真

4月7日、新しい体育館で厳かに開催された令和2年度琴平中学校入学式。

発行責任者		議長	安川 稔
議会広報編集特別委員会		委員長	豊嶋 浩三
副委員長	吉田 親司	別所 保志	森藤 泰生
山下 康二	渡辺 信枝		